



さあ、答え合わせをしよう！

Vol.77 調べてみよう～生活文化「墓(はか)」②

※ココを見てね! ▶ 調べてみよう～生活文化「墓」②

1. 日本列島の土は 骨を溶(と)かしやすく、人骨は残りにくいとされています。ところが、いまの沖縄県など、南西諸島(なんせいしやとう)では2万7000年～2万年前の人骨が見つかりました。それは、なぜでしょうか？

正解:③アルカリ性の強い、石灰岩(せっかいがん)やサンゴ礁(しょう)の島だから

人類(じんるい)は、いまから約700万年前にアフリカで誕生(たんじょう)しました。そして、約4万年前に日本列島(れっとう)にも人類(じんるい)がやってきました。旧石器時代(きゅうせっきじだい)の遺跡(いせき)は全国に1万カ所以上ありますが、見つかっているのは石器(せっき)だけです。これらの石器(せっき)は自然にできたものではなく、だれかが作ったものなので、この時代に旧石器人(きゅうせっきじん)がいたことがわかります。でも、日本列島(れっとう)の大部分の土地は、火山灰(かざんばい)が降(ふ)り積(つ)もった酸性(さんせい)の土なので、埋(う)まった骨(ほね)は長い年月をかけて溶(と)けてしまいます。これに対し、沖縄県(おきなわけん)など南西諸島(なんせいしやとう)の土はアルカリ性の強い石灰岩(せっかいがん)やサンゴ礁(しょう)なので、骨(ほね)が残りやすいと考えられています。正解は③。※「調べてみよう～旧石器時代」にもくわしく説明しているよ。

2. 研究者たちが出土した骨を分析すると、いろんなことがわかります。次のうち、わからないのはどれでしょうか？

正解:②頭が賢(かしこ)かったり、イケメンだったこと

これまで、全国の遺跡(いせき)から発掘調査(はくつちやうさ)でたくさんの人骨(じんこつ)がみつかっていますね。考古学(こうこがく)の研究者(けんきゅうしゃ)たちは、自分たちの経験(けいけん)から得(え)た知識(ちしき)だけでなく、いろんな専門家(せんもんか)の意見を参考(さんこう)にしなが、大昔の人たちがどんなふうに暮(く)らしていたのかを調べ、発表(はっぴやう)します。なかでも、墓(はか)や人骨(じんこつ)には色々な情報(じやうほう)がつまっていて、亡くなった人の、年代(ねんだい)や性別(せいべつ)がわかるだけでなく、何を食べていて、どんな病気(びやうき)にかかったかもわかるそうです。さらにこのことから、その時代、その地域(ちいき)の植物(しょくぶつ)が何だったのか、どんな動物がいたのかまでわかります。だけど、骨(ほね)しか残っておらず、その上にある筋肉(きんにく)や皮膚(ひふ)は残っていないため、頭が賢(かしこ)かったり、イケメンだったことはわかりませんよね？ 正解は②です。※「学んでみよう～遺跡が教えてくれること」も読んでみてね。

3. 墓(はか)には、時代や地域によって、さまざまな特徴があります。いまの山陰(さんいん)地方では、四角形の隅(すみ)にツノが生(は)えたような独特(どくとく)の墓(はか)がつくられました。さて、何とよばれていますか？

正解:②四隅突出型墳丘墓(よすみとっしゅつがたふんきゅうぼ)

弥生時代(やよいじだい)になると、墓(はか)のつくり方にも変化(へんか)があらわれました。それは、縄文時代(じやうもんじだい)にみられる墓(はか)とは別に、地域(ちいき)によっては、朝鮮半島(ちやうせんはんとう)から伝わった墓(はか)もつくられるようになったのです。答えはWEBサイトを読めばわかりましたね。正解は、②四隅突出型墳丘墓(よすみとっしゅつがたふんきゅうぼ)。鳥取県(とっとりけん)のおきばんだ遺跡(いせき)に、ぜひ見に来てほしいなあ～♪ちなみに、「前方後方墳(ぜんぽうこうほうふん)」は、いまの東日本(東海・関東)で多くつくられました。「角有海賊墓(つのありかいぞくぼ)」…はて？そんなのあった?! ひっかけ回答でした(´艸`)